

進路だより

大阪市立宮原中学校

No.13

H.28. 1.12 発行



面接の受け方

○日ごろの学校生活での態度が問われます○

就職試験、多くの私立高校、公立高校のエンパワメントスクール、通信制、2次選抜などの入試には面接があります。企業や高校が面接を行う理由の第一は、生徒がその企業や学校にどれくらいの意欲を持って入りたいかを知るためです。意欲がなければ、仕事や学業は続きません。

もう一つは生活態度を知るためです。大事な時でも、正しい言葉遣いや服装、態度ができない人は、日ごろの学校生活や仕事もきっちりできないだろうと判断されます。最近は、このことの方が重視されています。「今やらなくても、その時になったらできる」と思っている人は、必ず本番で日ごろのいい加減な態度が出てしまいます。今からしっかりと練習するとともに、言葉遣いなどを普段から気を付けておきましょう。

面接の内容は、みなさんの中学校での様子や高校への抱負などですが、環境問題やボランティアなどの時事問題について問われることも多いようです。新聞などをよく読んで関心を持っておいてください。

ここに、面接の受け方について書いておきます。各自で練習しておいてください。

○面接の受け方○

【事前に確認】

- ① 学校や会社に入る前に身だしなみをチェックします。
⇒シャツのボタンも必ず一番上までとめます。
⇒胸ポケットのペンやヘアピンなども取っておきます。
⇒名札もまっすぐか確認します。
⇒中のセーターの裾や袖口がブレザーの下からのぞかないようにします。
- ② あらかじめ各クラス出席番号順に 6 つのグループを作ります。
自分が何グループなのか確認してください。



③ 面接練習は、談話室で行います。

最初のグループは授業開始の 5 分前(休み時間中)に、2 番目のグループは授業開始時刻に、3 番目以降のグループは 2 つ前のグループが教室に帰ってきたら教室を出て、談話室前の廊下の椅子に掛けて待機します



【面接直前からの手順】

- ① 談話室前の廊下にて、入室前に服装をチェックします。
- ② 廊下の係の先生の指示でグループ全員が立ち、出席番号の先頭の人が入室前にドアを軽く 2 回ノックします。(グループ面接の場合は先頭の人がノックします)
- ③ 中から「どうぞ」と言わされたらドアを開け、「失礼します」と声をかけて順に中に入り、最後の人がドアを閉めます。このとき後ろ手で閉めないよう、ドアの方に体を向けて閉めます。
- ④ 談話室は裸足ですので、靴を脱いでから談話室に入り、ドアの前に靴を手で並べます。本番ではこのような場面はありません。
- ⑤ 入室したら、面接官の方を向いて軽く一礼してから、用意された椅子の左側に進みます。全員がそろい、一礼をしてから受験番号(今回はクラスと出席番号)と名前を告げます。
- ⑥ 「どうぞ」と言わされたら「失礼します」と声をかけてから静かに座ります。
- ⑦ 椅子には深く腰を掛け、背もたれにもたれずに背筋をまっすぐに伸ばします。足はきっちりとそろえます。男子は少し開いても構いません。手は、男子は太ももの付け根で軽く握ります。女子は膝の上で手を重ねます。目線は面接官の口か首の付け根あたりに合わせます。下を向くと元気なく見え、上を向いたりすると落ち着きがないように見えます。
- ⑧ 言葉づかいは正しい敬語を使い、はつらつとした声でていねいに。間違ったときは、照れて頭をかいたりせずに落ち着いて訂正します。間違ったことによる減点はありません。分からぬときは悪びれずに「分かりません」と答えます。黙ってしまうことは減点の対象となります。
- ⑨ 「終わります」と言わされたら、静かに立ち「ありがとうございました」と声をかけて一礼します。
- ⑩ 椅子の右側に出て、ドアまで進みます。ドアの手前で向きを変え、「失礼しました」と声をかけ一礼し、またドアの方を向いてからドアを開けて退出します。最後の人は、ドアの方を向いてドアを閉めます。
- ⑪ 談話室を出てから多くの先生が観察しています。本番では、最寄駅まで観察している学校もあるので、家に着くまでは気を抜かないようにしてください。